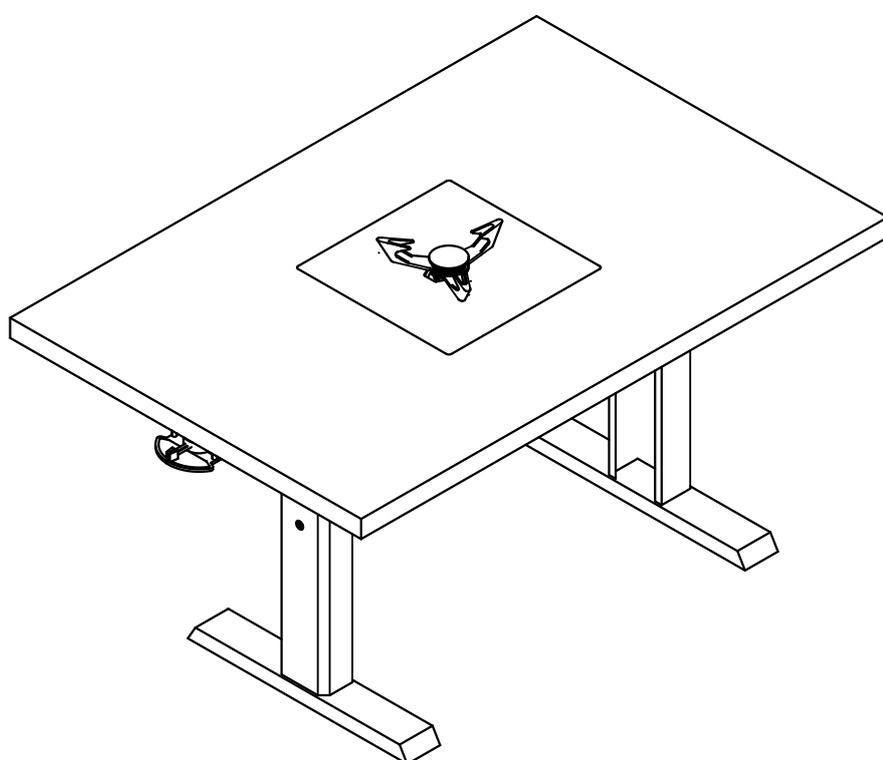


業務用 ガス客席埋め込み型コンロ

TRIANGLE

品番：CTK-3000TR



家庭用には使用しないでください

このたびは、業務用ガス客席コンロを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。
製品を末永く安全に使用していただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに、保管しておいてください。

目次

■ 《ご使用前に》または《安全に正しくお使い頂くために》	2
■ 表示と意味	
■ 絵表示について	
■ 特に注意していただきたいこと	3～5
■ ガス漏れの処置	
■ 使用ガスについての注意	
■ 火災注意	
■ 火災予防	
■ 異常時の処置	
■ 注意—使用上の注意	
■ お願い	
■ 各部の名称と仕様	6～7
■ 各部の名称	
■ 消耗品	
■ 仕様表	
■ 設置について	7～8
■ 設置前の準備	
■ 設置場所	
■ 設置時の注意	
■ ご使用方法	9～10
■ ご使用前の準備	
■ 操作の方法	
■ 火力の調節	
■ 安全装置について	
■ 停電時・災害時のご使用方法	
■ 日常の点検・お手入れ	11
■ 点検・お手入れの際の注意	
■ 点検	
■ お手入れ	
■ 点火プラグ・サーモカップルのお手入れ	
■ 故障・異常の見分け方と処置方法	12
■ 長期間使用しない場合	12
■ アフターサービスについて	13
■ サービス（点検・修理など）を依頼される前に	
■ 移設される場合	
■ 保証について	
■ 消耗品	
■ 補修用性能部品の最低保有期間について	
■ 連絡先	
■ 保証書	14

■ 《ご使用前に》 または 《安全に正しくお使い頂くために》

安全に正しく使用して頂くために必ずお読みください。

ここに示した注意事項と絵表示は機器を安全に使用していただきお客様や他の人々の危害や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■表示と意味

誤った取り扱いや設置により生じる危害・損害の程度を3つに区分しています。

 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

■絵表示について次のような意味があります。

 一般的な注意	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
 火災注意	このような絵表示は、火災に気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
 火気禁止	このような絵表示は、火気を使ってはいけない「禁止」内容です。
 高温注意	このような絵表示は、高温に気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
 一般的な禁止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 触手禁止	このような絵表示は、手を触れてはいけない「禁止」内容です。
 必ず行う	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

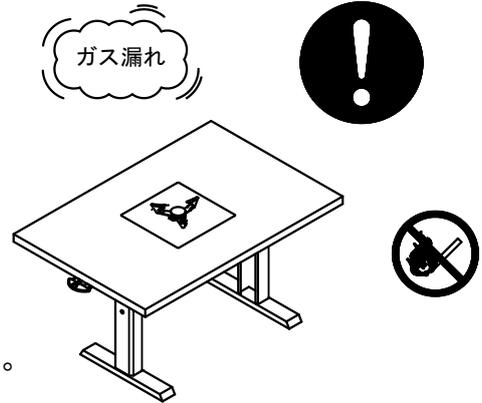
⚠ 危険

■ ガス漏れの処置

ガス漏れに気付いたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ①すぐに使用をやめ、ガスの元栓を閉じて下さい。
- ②窓や戸を開けガスを外へ出して下さい。
- ③お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡して下さい。



⚠ 警告

■ 使用ガスについての注意

必ず形式銘板（機器左側面に貼付）に表示しているガス（ガスグループ）を使用する。移設した時も、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを必ず確認する。

不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火で火傷したりすることがあります。また、故障の原因にもなります。

わからない場合はお買い上げの販売店またはガス事業者に連絡して下さい。

例：都市ガス12A，13Aの場合

品番：CTK-3000TR	
形式名：CTK-3000TR	
都市ガス12A，13A用	
ガス消費量12A	3.00kW
13A	3.20kW
00.00-000000	
山田金属工業株式会社	
業務用	使用可能な 最大寸法
	直径30cm

■ 点火確認・消火確認

使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめる。

使用後は消火と、器具栓ツマミが「閉」の位置の方向に「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガスの元栓を必ず閉じて下さい。火が立消えた状態で放置されると多量のガスがもれ、爆発の恐れがあります。



■ 日常の維持管理

日常の点検・お手入れを実施して火災予防上支障のない状態に維持管理することが、火災予防条例で求められています。

器具内部に油汚れが蓄積すると火災の原因となります。また、炎孔が詰まったり消耗したバーナは、未着火、立消えの原因となり、ガス漏れの危険が増します。



■ 異常時の処置

使用中に異常な燃焼・臭気・異常音が感じられたときや、地震・火災など緊急の場合は、あわてずにガスの器具栓及びガスの元栓を閉じて使用を中止する。

故障・異常の見分け方と処置方法（12ページ）に従って下さい。

ガス栓を閉じる

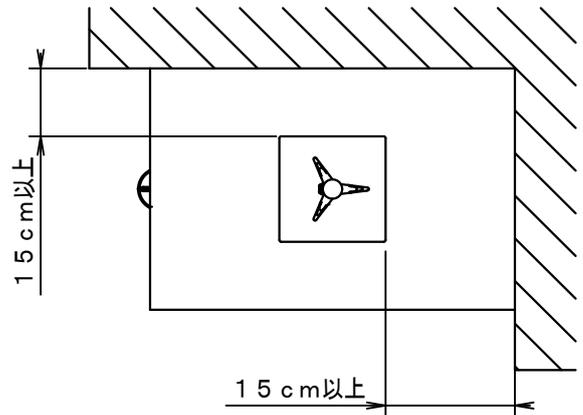
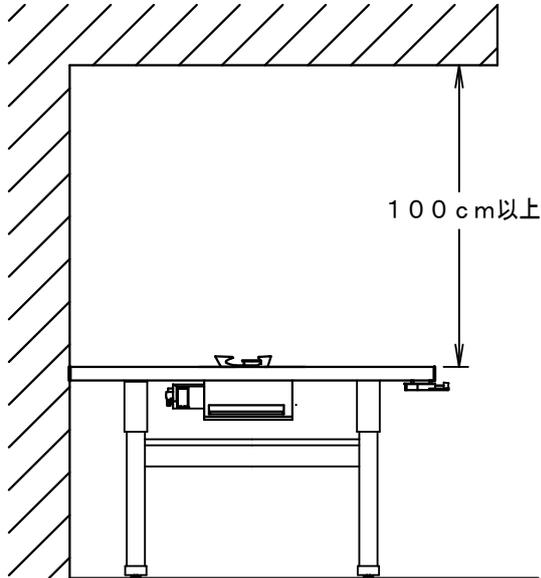


■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

 警告

■ 火災予防

設置や移動の際、（家具や壁・棚など）可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。



■ 火災注意

スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用しない。
機器の周囲にスプレー缶を置かない。



火災注意

熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

■ 換気に注意

窓を開けるか、換気扇を回すなどして必ず換気をしてください。



不完全燃焼による一酸化炭素中毒で死に至る危険があります。

■ 火災予防

火をつけたまま放置することは禁止します。



料理中のものが焦げたり、燃えたりして火災になる場合があります。

■ 火災予防

機器の上やまわりには、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶など）のものは置かない。



焦げたり、燃えたりして爆発や火災の原因となります。

■ 使用上の注意

ゴムの継ぎたし、及び二又分岐はしない。

ガス漏れや誤使用などで危険な場合があります。



■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 注意

- 使用上の注意
調理専用器具ですので調理以外の用途には使用しない。



火災注意

過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原因になります。

- 使用上の注意
使用中や使用直後は、高温部（ゴトク・トッププレート・バーナ等）には触れない。



機器本体とその周辺及び調理器具が熱くなります。特に小さい子供がいる場合は火傷に注意して下さい。

- 使用上の注意
ゴム管は、ときどき点検して取り替える。



古くなると、ひび割れや差込み口がゆるくなってガス漏れの原因となります。

- 使用上の注意
揚げ物調理には使用しない。



火災注意

調理油が過熱して火災になることがあります。

- 使用上の注意
機器を覆ってしまうような大きな鉄板、陶板類や補助具などを使用しないでください。



不完全燃焼や過熱による機器の焼損や火災などの危険があります。

- 使用上の注意
衣類の乾燥などに使用しない。



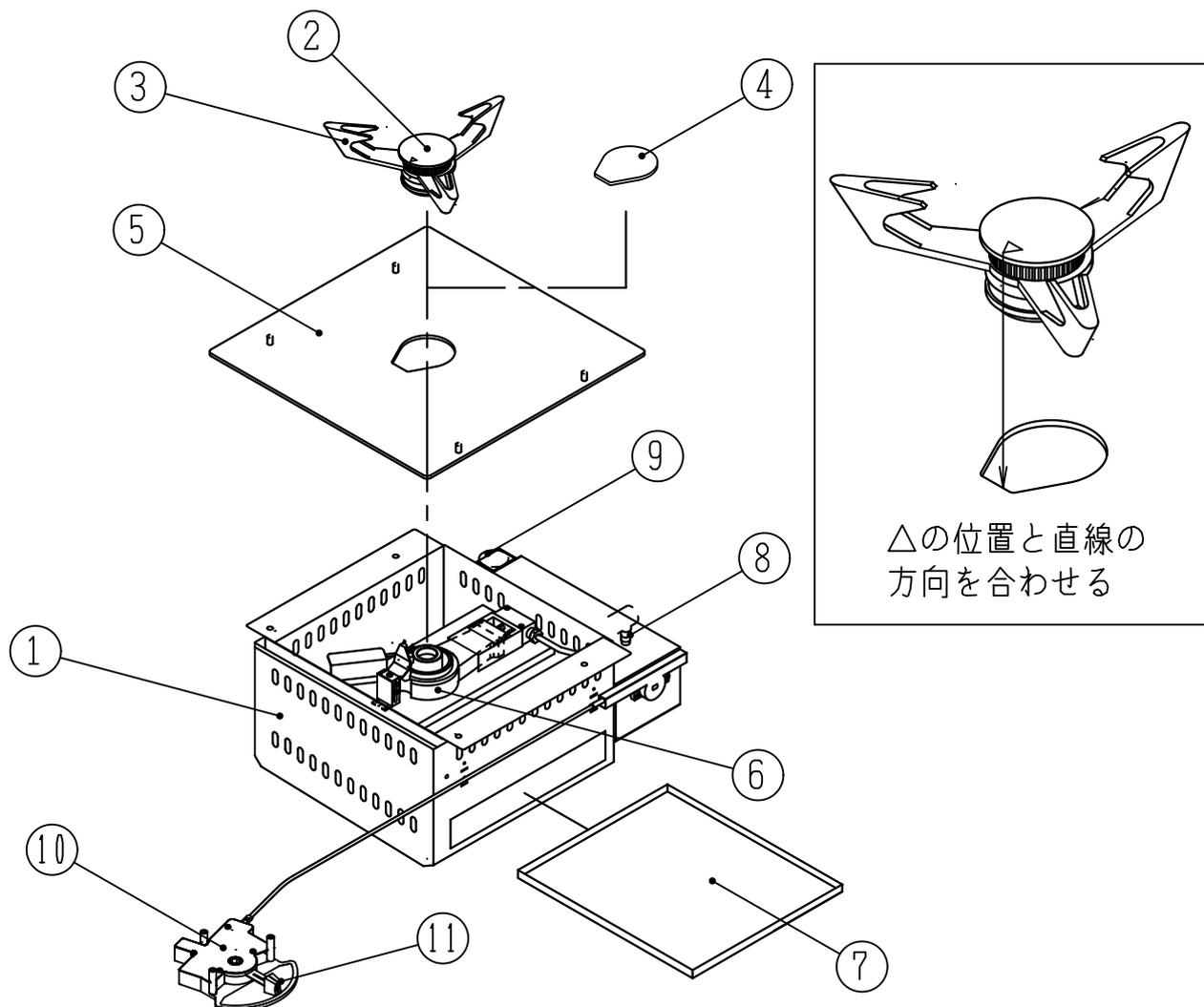
衣類が落下して火災になることがあります。

- 使用上の注意
- ・ 補助具はこの調理器具用の付属品以外は使用しないで下さい。
 - ・ なべをお使いになるときは30cm以下のものをご使用下さい。
 - ・ この製品は業務用です。家庭用には使用しないで下さい。
 - ・ 高温、多湿の場所では使用しないで下さい。

お願い

- ・ 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめて下さい。
- ・ 使用後は消火と、器具栓ツマミが「OFF」の位置の方向に「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガスの元栓を必ず閉じて下さい。
火が立消えた状態で放置されると多量のガスが漏れ、爆発の恐れがあります。

■ 各部の名称と仕様



■ 付属品

No.	部品名称	はたらき
①	本 体	バーナ・トッププレート・ゴトクを受けている部分
②	バーナキャップ	ゴトクの上に装着して、安定した炎を出す部分
③	トライアングルゴトク	バーナの上に装着して、鍋を保持する部分
④	トッププレートフタ	コンロを使用しない時のフタ
⑤	トッププレート	バーナキャップ付ゴトクを受ける部分
⑥	バ ー ナ	ガスと空気を混合する部品
⑦	底 皿	ゴミや吹きこぼれた汁などを受ける部分
⑧	ホ ー ス エ ン ド	ガス取入口
⑨	単 一 乾 電 池	バーナに点火する際の電源
⑩	ガススマートコントローラ	バーナの火力調節をする操作ケーブル
⑪	ツ マ ミ	バーナの火力調節をする部分

■ 消耗品

バーナ、バーナキャップ、トライアングルゴトク、単一乾電池

■ 各部の名称と仕様（つづき）

■ 仕様表

記載事項	記載内容		
製品名	TRIANGLE		
形式名	CTK-3000TR		
1時間あたりのガス消費量	都市ガス		LP
	12A	13A	3.20kW
	3.00kW	3.20kW	
点火方式	連続スパーク点火方式（単一乾電池）		
空気調節器	固定式		
寸法	幅458mm×奥行372mm×高さ210mm		
ガス接続口	9.5mmゴム管用ホースエンド		
安全装置	立消え安全装置（サーモカップル方式）		
質量	約11kg		
使用可能な最大なべ径	30cm		

※予告なく仕様の一部を変更させていただくことがありますので、ご了承ください。

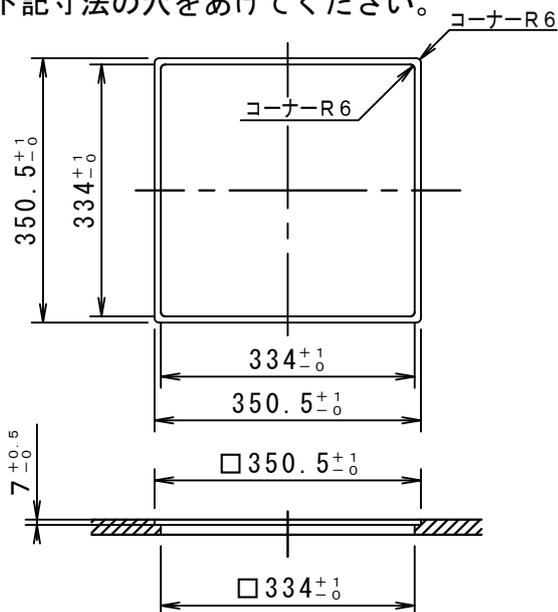
■ 設置について

■ 設置前の準備

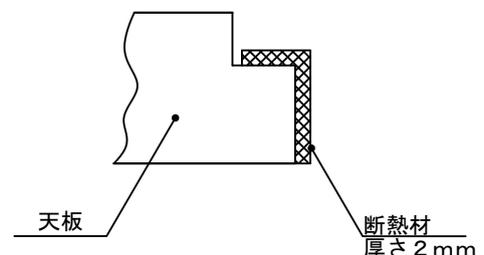
- ・ 機器をダンボールから取り出して包装部品全てを取り除き、付属品を確認してください。

■ 機器の取付方法

①天板（厚み20mm～40mm）に下記寸法の穴をあけてください。



②断熱材を下図のようにタツカで取付けてください。タツカの針の止めピッチは5cm程度を目安にしてください。また、コーナー部はたるまないようにしっかりと固定してください。



■ 設置について

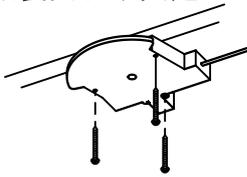
⚠ 注意

お客様の方で脚や棧を準備される場合には、器具本体や操作部が触れないように設定してください。また、ケーブルに無理な力がかからないようにしてください。

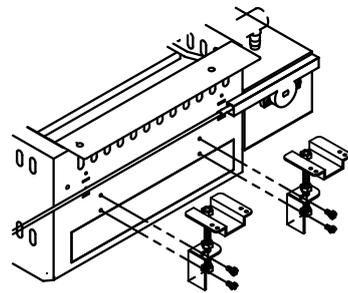
■ 機器の取付方法

- ③ 機器を天板の穴に入れてください。
※操作部を先に入れ、機器を斜めにしながら機器後方（ホースエンド部）を入れてください。
※全体が天板と平行になるように機器を穴の中にゆっくりと落としこんでください。

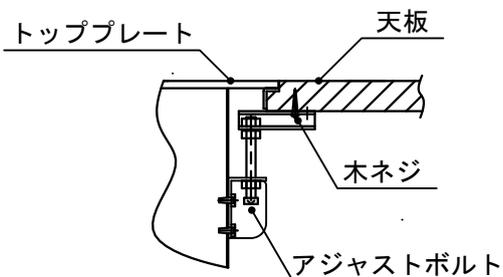
- ④ 操作部を付属の木ネジ（3.8 × 4.5）3本で天板裏面より固定してください。



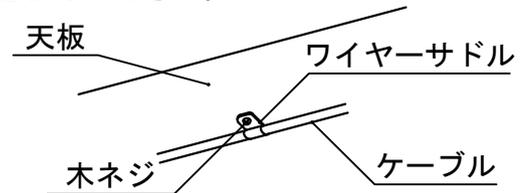
- ⑤ 機器に天板吊り金具を4ヶ所六角ネジ（4 × 8）で固定してください。



- ⑥ 天板吊り金具のアジャストボルトを回し、天板に金具が接地するように調節して木ネジで固定してください。
（※アジャストボルトの締めすぎに注意）

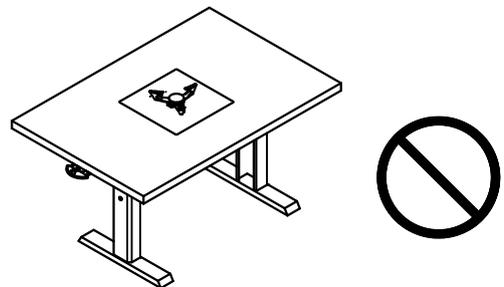


- ⑦ 付属のワイヤサドルと木ねじでケーブルを天板に2～3ヶ所固定してください。
※ケーブルは出来るだけ大きく曲げてください。（内側の半径10cm以上）
※ケーブルは機器本体に触れないように固定してください。



■ 設置場所

- ・ 棚の下など落下物のある所を避けて下さい。火災になることがあります。
- ・ 樹脂製の照明器具の下でのご使用はお避け下さい。照明器具のかさ等が変形することがあります。
- ・ 強い風の吹き込む所を避ける。風で吹き消されたりする場合があります。



■ 設置時の注意

- ・ ゴム管の接続
ゴム管の接続時にホースバンドを必ず付けてください。
ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短く、また器具の下を通したり器具に触れたりしない。



■ ご使用方法

■ ご使用前の準備

- ・ 装着部品がもれなく確実に装着されていることの確認
- ・ ツマミが「OFF」の位置であることの確認
- ・ 機器および機器周辺の確認

■ 操作の方法

① ガスの元栓を開く。

② トッププレートフタを外す。

- ・ トッププレートのPUSH刻印を指で下まで押す。
- ・ トッププレートフタが持ち上がるのでフタを外す。



フタのPUSHを押す

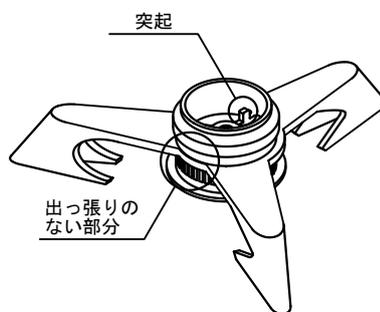


フタが持ち上がるので取り外す。

③ バーナキャップ付きゴトクをセットする。

- ・ 点火・立消え安全装置ユニットが上に上がっていることを確認する。

△マークの方向と点火・立消え安全装置ユニットの方向を合わせる。

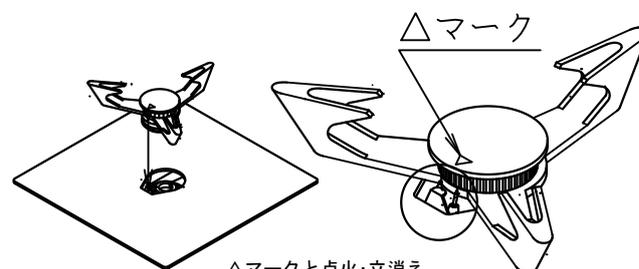


バーナ切欠き部

点火・立消え安全装置ユニット

その時、バーナの切欠き位置凹とゴトク裏面内側にある凸突起が合います。

※ バーナキャップ付きゴトクと点火装置が正しい位置にセットされていない状態では点火スパークを行わない確認安全装置が働きますので注意してください。



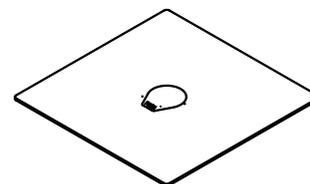
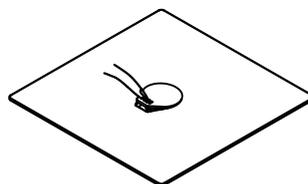
△マークと点火・立消え安全装置ユニットの位置を合わせて載せる

④ 点火は、ツマミを「OFF」から「ON」の方向へ「カチッ」となるまでスライドすると「チッチッチッ」という音とともに点火を開始します。バーナに着火したことを確認してから、5～10秒後手を離して、もう一度バーナに着火していることを確認してください。はじめて着火するときは、ガス管内に空気が入って点火しにくいことがあります。この場合は、2・3回点火操作を繰り返して行って下さい。

※点火の際や使用中に《ゴーゴー》音を立てて燃える現象が起きたときは一旦ツマミを「OFF」にしてから再点火してください。

⑤ 消火は、ツマミを「OFF」の位置にして「カチッ」と音がするまでもどし、消火したことを確認してください。

⑥ バーナキャップ付きゴトクが冷めたことを確認してから外し、トッププレートフタを置き、PUSH刻印を指で下に押し込んでフタをはめてください。



■ ご使用方法

■ 火力の調節

- ・ 火力調節は3段階に調節できます。
※火力調節の際はツマミをゆっくり動かしてください。速く動かすと火が消える場合があります。
※節度以外でのご使用はできませんのでご注意ください。特に節度以下にすると消火しますのでご注意ください。

■ 安全装置について

- ・ この機器には立消え安全装置が付いています。炎検出部（サーモカップル）がひどく汚れている場合、着火しにくい、使用中に火が消える等の症状がでることがあります。その場合はP 11 お手入れの項を参照して清掃してください。



高温注意

清掃は必ず機器が冷えた状態で行ってください。

- ・ バーナキャップ付きゴトクをセットする場合、点火プラグ、炎検出部（サーモカップル）に当てないように気を付けてください。点火プラグ、炎検出部（サーモカップル）の取り付け位置が変化して着火しにくい、着火しないという症状がでる場合があります。

■ 停電時のご使用方法

- ・ ご使用中に万一停電した場合、換気扇などが動かなくなり、換気ができなくなる為、窓を開けるなどして換気に注意してください。
窓が無く換気できない場合は、ツマミを「OFF」の位置にし、ガスの元栓を閉じておいてください。

■ 使用する鍋について

- ・ 直径30cmを超える鍋は使用しないでください。
鍋からの輻射熱などで機器及びテーブルが加熱され火傷や故障の原因になります。

■ 使用後につて

- ・ ご使用後はトッププレート・バーナキャップ付きゴトクなどが熱くなっていますので注意してください。
トッププレートは濡れ布きんなどで拭いて冷ましてください。

■ 日常の点検・お手入れ

機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行って下さい。

■ 点検・お手入れの際のご注意

- ・ 日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- ・ 特に煮こぼれした時は、必ずバーナの清掃を行ってください。
- ・ 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。
- ・ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談ください。
- ・ 点検・お手入れの際には必ずガスの元栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意してください。
- ・ 機器内部をお手入れする場合は手袋を着用し行ってください。各 부품の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意してください。

■ 点 検

- ・ 各部品とも正しくセットされていることを確かめてください。
- ・ バーナおよびその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめてください。
- ・ 機器周辺に可燃物・障害物などがいないか確認してください。

■ お手入れ

- ・ トッププレートは、しぼった布巾などで掃除してください。汚れがひどい場合は中性洗剤を含ませてふき取り、乾いた布で十分水気を取ってください。
- ・ 底皿を引き出して掃除してください。
- ・ バーナキャップのスリット部（炎口）をブラシや針金などで掃除してください。
- ・ バーナはブラシなどで内部を掃除してください。
- ・ 機器内部には水をかけないでください。故障の原因になります。

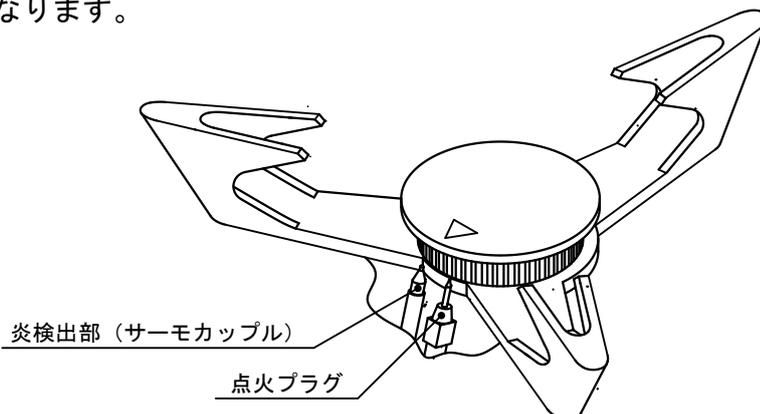


■ 点火プラグ・サーモカップルのお手入れ

お手入れ

点火プラグや炎検出部（サーモカップル）がひどく汚れて着火しにくい場合は、先端をブラシなどで掃除し、布等で丁寧に拭き取ってください。

注意 点火プラグ、サーモカップルの取付位置を動かしたり、キズを付けないでください。点火不良や故障の原因になります。



■ 故障・異常の見分け方と処置方法

原因	現象									処置方法	
	ガスの臭いがする	点火しない・点火しにくい	着火・火移りがしにくい	炎が黄火で燃える	炎が飛びように燃える	異常な音をたてて燃える	炎が異常に小さい	炎が異常に大きい	炎が安定しない		使用中に炎が消える
ガスゴム管接続が不完全 ガスの接続が不完全	○										ガスゴム管の接続を確実にする ガスの接続を確実にする
ガスの元栓の開きが不十分		○	○					○	○	○	ガスの元栓を全開にする
ガス元栓内の安全弁が作動している		○	○								ガスの元栓を閉じてからゆっくり全開にする
配管中に空気が残っている		○	○		○				○		点火操作を繰り返す
銘板表示のガスと使用ガスの不一致		○	○	○	○	○	○	○	○	○	ただちに使用をやめ、販売店に連絡し使用ガスに合った機器と交換
バーナの取り付けが悪い		○	○	○	○	○			○	○	バーナを正しく取り付ける
立消え安全装置		○	○							○	P 1 0 に記載の安全装置の項参照
バーナキャップ付きゴトクを取り付けが悪い		○									バーナキャップ付きゴトクを正しく取り付ける
サーモカップル・点火プラグが上に上昇していない		○									サーモ・点火プラグユニットを指で押し、上に上昇させる
LPガスがなくなりかけている		○	○	○				○	○	○	新しいボンベと交換する
ツマミの開き不足		○	○					○		○	ツマミを一度「OFF」に戻してから再び点火操作を行う
バーナキャップの炎口が詰まっている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	バーナキャップの炎口を清掃する
点火操作が適切でない		○	○								正しい点火操作を行う
バーナが劣化している		○	○	○	○	○	○	○	○	○	販売店に連絡し、修理して下さい
電池が切れている		○									新しい電池と交換する

■ 長期間使用しない場合

■長期間使用されない場合は各部を清掃し、ガスの元栓を閉じて保管して下さい。

■ アフターサービスについて

■ サービス（点検・修理など）を依頼される前に

- ・サービスを依頼する前に12ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないで買い上げの販売店にご連絡下さい。
- ・アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせ下さい。
 - ① 製品名・製品番号（銘板に表示のもの）・ガスの種類
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象（できるだけ詳しく）
 - ④ 製品購入日・販売店・訪問希望日・時間帯

■ 移設される場合

- ・移設によってガスの種類が変わる場合があります、その場合、工事や調整には専門の技術が必要になりますので必ず買い上げの販売店またはもよりのガス事業者にご連絡下さい。
また、このときに要する費用は有料です。

■ 保証について

- ・「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、買い上げ日より「1ヶ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
 - ② 移動によって生じた損傷・故障
 - ③ 改造された場合の故障
 - ④ 天災による損傷・故障※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■ 消耗品

- ・消耗品は、保証期間中でも有償となります。（6ページを参照）

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- ・このガス客席コンロの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

■ 連絡先

- ・ガス客席コンロをお使いになった上で、なにか不明な点や不具合な点がございましたら、お買い求めになった販売店が当社へ連絡して下さい。

YAMAOKA

山岡金属工業株式会社

ISO14001:2004(本社)／ISO9001:2008認証取得

本 社／〒570-8585 大阪府守口市東郷通り2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045
東京支店／〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722

URL <http://www.silkroom.co.jp> / E-mail info@silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。